

情炎

礼 恭司

世間が許さぬ 日毎の逢瀬
知っていたながら 逢いに行く
この恋だれが 止められましょう
哀しいほどの せつなさ抱いて
どこまで燃えて 死ぬまで女

あなたも傷つき わたしも泣いた
春を呼べない 冬の花
いいのよいいの さだ明日のことは
流れのままに 運命さだめのままに
どこまで生きて 死ぬまで女

命を絶っても . . .